

釜戸町文化祭を訪ねて

10月23日(日)『第48回 釜戸町文化祭』2日目の会場に出向きました。10時開始の30分前に現地に到着しましたが、もう多くの方の姿があり、公民館関係・地域スタッフ・ボランティアの方々の打合せや準備とともに出演者のリハーサル真只中でした。

催し開始前の光景を目の当たりにして、催しそのものを有参加者・有観客で開催することの大切さ、開催できることの有難さを実感しました。

大きな声を発することはできなくても、様々な会場に人の動きがあること・豊かな表情があること・お互いにコミュニケーションをとる姿があること、そんな姿が釜戸町文化祭には随所で見られました。こうした活気と勢いを生み出しているのは、公民館の方々を中心としたスタッフの方全員に文化祭の実施・成功への熱い思いがあること、地域住民の方の『釜戸町文化祭』への期待、そして温かな思いがあるからだと思います。

北中学校の生徒たちもボランティアスタッフとして関わり、またブラスバンドクラブが1・2年生のみの編成として初披露の場となるということから、どちらの姿も楽しみにしていました。

ボランティア3名は、割り当てられた担当箇所、誠実に、一生懸命取り組む姿がありました。見ていてとても好感が持てました。またブラスバンドクラブからは一体感と一人ひとりの直向きさが伝わりました。自然に拍手に包まれる演奏は会場の一体感を生みましたね。



【3名のボランティアメンバーとその活躍】



【初披露とは思えないままとまりと美しい演奏で「アンコール」の声も】

10月22日(土)『第48回 釜戸町文化祭』1日目スナップ

